



7月食育だより

町田市立鶴間小学校
校長 杉本 勉
栄養士

南アフリカ給食を実施します！

町田市と南アフリカの交流のきっかけは、2015年7月にラグビーチーム「ブルー・ブルズ」が日本で初めてとなる町田市へ遠征を行い、町田市立陸上競技場(現・町田GIONスタジアム)で当時のホームタウンチーム「キャノンイーグルス」と国際交流試合を開催したことです。この試合以降、2015年ラグビーワールドカップでの日本代表 対 南アフリカ代表戦のパブリックビューイングの実施や、駐日南アフリカ大使館行事への参加などの交流が始まりました。2016年6月には、ラグビーワールドカップ2019日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツを通じて南アフリカとの交流を更に深めるため、ホストタウンとして登録を行いました。そこで、鶴間小学校では、7月10日に南アフリカ給食を実施します！

7月18日は「ネルソン・マンデラの日」

南アフリカ共和国の元大統領であるネルソン・マンデラさんは、その生涯のうち67年もの間、人種差別を無くすために活動し、南アフリカで初めての黒人大統領となりました。(図書室に本があるので読んでみてください！)国連では、世界の人々に対して、ネルソン・マンデラさんの誕生日である7月18日に「誰かの幸せのために67分の時間を使うこと」を提案しています。

ネルソン・マンデラがラグビーに託した思い

1994年に初の黒人大統領となったネルソン・マンデラは、人種間の和解と融和を目指し、スポーツの力を信じました。1995年にはラグビーワールドカップの自国開催にこぎつけ、「ワンチーム・ワンカントリー」のスローガンのもと、ラグビーや白人を嫌う黒人たちに「我々のチームを愛してほしい」と説いて回りました。多くの国民の応援を受け、南アフリカの代表チームが力を合わせて頑張り、見事世界1位になりました。この優勝は国の人々の心をつなげました。そして、ラグビーワールドカップ2023決勝において、南アフリカは見事に勝利し、前回大会に続く連覇、そして史上最多となる4度目の優勝を果たしました。

7月10日の献立

柏パン・ペリペリチキン・ポイキ風スープ・カラフルサラダ

ペリペリチキン

レモンやスパイス、とうがらしをまぜて作るペリペリソースに、チキンをつけこんで焼く料理です。給食ではからみをおさえて作りません。

カラフルサラダ

ラグビー南アフリカのラグビー代表チーム「スプリングボックス」のユニフォームの色(緑と黄色)をイメージした、カラフルサラダを作ります。

ポイキ風スープ

ポイキは、お肉と野菜にワインを加え、じっくり煮込んだ料理です。本場のものは材料をゴロゴロと大きめに切りますが、給食では食べやすいように小角切りにしようと思います。

